

## 第1回 山武市景観計画策定委員会 議事要旨

◆日時：平成25年7月17日（水） 14時00分～16時00分

◆場所：山武市役所第5会議室

◆次第

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員紹介、スタッフ紹介
- 5 委員長、副委員長の選任
- 6 委員長、副委員長のあいさつ
- 7 山武市景観計画策定の目的及び進め方について
- 8 議事
  - (1) 各委員の考える景観
  - (2) 現況及び課題
- 9 その他
- 10 閉会

◆出席委員

北原理雄委員、中谷正人委員、中村順子委員、猪野源治委員、行木静委員、廣口芳治委員、  
稗田忠弘委員、石槁宏委員、【欠席】福田順子委員、小川千洋委員

◆事務局

都市建設部：猪野部長、並木参事

都市整備課：土屋課長、織田主幹、並木係長、吉原主査補、若梅主任主事

昭和株式会社：青野、新野、加藤、柴崎



◆委員長、副委員長の選任

委員長に北原委員、副委員長に猪野委員が、全会一致で選任された。

◆山武市景観計画策定の目的及び進め方について

事務局より山武市景観計画策定の目的及び進め方について、説明を行った後、各委員より山武市の景観に対する意見を伺った。

◆議事

【要旨】

各委員それぞれの活動の紹介と併せて、「各委員の考える景観」「景観の現況及び課題」について意見を伺った結果、代表的なものとして、海岸の松林・砂浜のゴミ、荒廃した山林などが課題として挙げられ、良い景観としては豊かな自然、槇の生垣などが挙げられた。

また、山武市にはたくさんの宝物（資源）があるのに、十分に生かされていないという意見が各委員からあった。

以下、各委員の発言は下記のとおり。

(1) 各委員の考える景観

【議事内容】

| 名前  | 意見内容   |
|-----|--|
| 委員長 | ● 名前だけの紹介ではなく、こういう活動をしているという紹介や、その中であまり景観計画にはとらわれず、自分が景観についてこんな風に考えているというところをお話しただけならと思う。  |
| 委員  | ● 山武市の観光目的といえば「海」と「果物」の二つに分けられると思う。その中で自身は観光イチゴを経営している。都会から来たお客さんから「いちごもおいしいし、空気もおいしく良いね」というお話を受けて、都会の人からしたら山武の田園風景などの自然は大事なのだと感じた。<br>● 自然はこれ以上開発しないでもらいたいし、この景観をずっと守っていけたら良い。この山武の自然の良さを山武市外にも広めていけたら良い。   |
| 委員長 | ● 本当に空気がおいしい。総武線で成東に来るとそれを境に空気が変わる。こういったものを是非今回の景観の中にも入れられたら良い。  |
| 委員  | ● 外からのお客さんの意見は本当に重要で、イチゴ農園に来るお客さんの話を聞くと、彼らは「安心・安全な食べ物」に加え「癒し」を求めている。例えばイチゴハウスから出たときに親子が遊んでいるのを見ると、このような時間は非常に重要だなと感じる。<br>● 普段仕事をしている人は、家族でゆっくり過ごす時間を求めているように思う。そのようなお客さんを迎えるためにも、他都市の観光地では、道の駅やトイレ、道路等が綺麗に整備されている。山武市もそういう都市になれば良いのではないかと思う。<br>● また、さんぶの森の自然は素晴らしいと思う。これをもっと活かさないだろうかと常々考えている。 |
| 委員長 | ● 海だけではなく山も魅力的という事で、うまく接点を持てたらいい。  |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 山武の持っている自然には非常に関心がある。蓮沼の松林・白砂青松の九十九里海岸は、なぎさ100選にも選ばれたように、原風景を将来にも残していくことは重要であるが、それと共にその景観を維持することは非常に大変である。</li> <li>● 津波の影響で枯れ果てた松林（小さい木で植樹はされているが）をどうにか以前の松林の鬱蒼とした景観に復活させ、その海沿いの景観を維持していかなくてはならないと痛切に感じている。</li> <li>● 現状として、その枯れ果てた松林にゴミが捨てられている。「癒し」を求めてくる人が多いのに、この状態では来てくれた人が不愉快になる。現に年に2回程定期的にゴミ拾い活動を企画していただいているが、外から来た人に「来てよかった」と思われるために、これを日常的にやっていくという意識・汚さないという意識を徹底する仕組みがあれば良い。</li> <li>● 山武としては田園風景、海岸風景、森林風景は大きな宝であるので、それらを残し、維持管理していくことが最大のテーマではないかと思う。それに伴い、外から人を迎えるのであれば、道の駅と海岸にトイレを増やし、それを維持管理できる体制づくりをしていくことも必要だと考えられる。</li> </ul>   |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ゴミの問題や、外から来ていただいた方々を大切しようということで、今後いろいろ具体的なことに繋がっていきそうなのでよろしくお願ひします。</li> </ul>   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 4つの町村の商工会がようやく一つになり、昨年11月に商工会の事務所は松尾に移転した。</li> <li>● 商工会で一番気にしていることは屋外広告物についてである。格好の良いものであれば良いが、ケバケバした看板やこれは何だろうと思うような問題ある看板があればご指摘いただきたい。</li> <li>● また、トイレ整備の話が出たが、松尾庁舎の跡地利用の検討にあたり、トイレが出来るという話を聞いている。やはりトイレの心配なく山武に行けるというような土地は必要だと思う。</li> <li>● それから、松尾駅の印象について、使い勝手が悪く田舎の駅というイメージがあり、皆さんの意見聞き、自分たちができる範囲で見映えの良いまちづくりが出来たら良いと思う。</li> <li>● とにかく地元の人たちのために何かやってお互いに共に暮らしていくのだという社会をつくりたいと思う。</li> <li>● 昨年から山夢来（さむらい）本舗やイチゴ屋さんやイチゴのスイーツや他の食べ方の方法は何かないかということで一緒に動き始めている。「イチゴの山武」という売りがあるので、このように自分たちにできることが何かあればと思っている。</li> <li>● また、山武の景観について個人的に良いと思ったものとして、早船の藤の花は非常に綺麗で、わざわざそれだけを見に行っただけである。山武は意外と藤の木がいろんな箇所にたくさんあり、松尾にも山の方へ行くと藤の花がたくさん咲いているところがある。こうしたものも一つの売りになるだろうし、それを通る山歩きのコースなどが出来たら良いと思う。</li> <li>● また、今の山武市には外に持っていけるようなお土産が少ないように思うので、これらも農業と商業が共働して研究していけたら面白いと思う。</li> </ul> |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋外広告物は、迷惑要素として規制する考え方があるが、一方で、そのまちの特徴を演出・表現する役割も持っている。規制するだけではなく、育てるような景観づくりが考えられたら良いと思う。</li> </ul>   |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 私が所属するさんむフォレストでは、50年後、100年後、山武杉の家が立ち並ぶ良い景観を創ることを目指して、地産地消の仕組みを徹底したまちづくりとして、山武杉で家を建てている。その際、まきストーブを取り入れ、建築時の残材まで綺麗に使い切るという仕組みを提案しており、この考えに賛同したご夫婦が東金市から山武市に引っ越してきたということもある。大勢ではないが賛同してくれる人はおり、そうした仕組みで生活していくことで、社会貢献になるという位置づけもできる。</li> <li>● 景観に絡めていけば、地元の素材でできていると、統一感が出るという意味で大事である。屋外広告物も、山武杉で作るなど、その町らしいものをつくっていくのは必要なことだと思う。</li> <li>● それから、山武市が持っている田園や山林や海の景観については、現状を見る限り、「残す」という段階ではなく、「再生」していくべきだと感じる。</li> <li>● 山林は荒廃し、田園は圃場整備され、生き物がまったくいなくなっているのが現状である。</li> <li>● 田園については、蓮沼の道の駅のすぐそばに冬水田んぼ（冬の間も水を張っておく）という手法で田園を管理している若いご夫婦がおり、その手法であれば肥料をしなくともちゃんと米が育つようになっている。これは将来、白鳥が途中で休憩していく田んぼになるだろうと思う。こうした取り組みを行えば、田園も魅力的な景観要素のひとつになり得るはずである。</li> <li>● 本須賀の海については、緊急車両の通行のために砂浜の一部に砂利が敷かれており、その影響で雨が降ると水たまりができる。</li> <li>● さらに海岸はゴミだらけで、毎日ゴミ拾いをしているが、きりがない。この活動を続けていくには、まず人づくりが必要である。</li> </ul> |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生をしなくではダメではないかという事だったがその通りである。景観計画だけでやりきれることではないが、再生を視野に入れて考えていけたら良いと思う。</li> </ul>   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● まず、山武の景観については非常に大きな命題で、果たして自分がそこで何か役割が果たせるだろうか、と思うほど景観の幅広さや難しさを感じた。</li> <li>● かつては「山武杉」として売りに出し、建築材としての有効利用が成されていたが、稗田委員も言ったように現在の山林は非常に荒れ放題で、どうにもできないところまで来てしまっており、外から来た人に自慢できる状態ではない。</li> <li>● 原因ははっきりしており、山林所有者は、ある程度の利益が見込まれないと山林に手を加えることができないというのが一番の理由となっている。</li> <li>● どうしたら山林（緑）を健全に維持できるか、今まで様々な施策がされてきたが、やはり根本的な解決策が見つかっていない。山を諦めてしまっているところまで追い込まれている。</li> <li>● 現段階では昨年より、間伐材を受け入れて、山の活性化に結び付けようということを試みている NPO 法人があり、そこに行政も多少なり資金を出して動いてもらっている。枝払いからトラック運搬を含め、1tあたり2000円～3000円程度で取引されるので経済リスクは大きいですが、山は間伐していかないと将来につながる山が出来なくなってしまうので、多少でも受け入れてもらうことが可能であればということで、作業をしている。</li> <li>● 今まで築き上げてきた山をできるだけ見てもらいたいなという思いの中で、大変なことではあるがこの事業に取り組んでいる。</li> <li>● これから、皆さまとの意見交換の中で様々な知恵も拝借していきたいと思う。</li> </ul>   |

|     |  |
|-----|--|
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 景観を構成している様々なもの、それぞれ経営として成り立っていないと守っていくこともできないと思う。そういう意味ではこの委員会の枠からはみ出すこともあるかと思うが、そういうことも話題にして、ここで、受け止めきれないものは市の他の所で受け止めていただいて、景観とコラボするような形で、ご意見いただけたらと思う。</li> </ul>  |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本日参加するはずだった小川委員と先日駅前広場の協議会（成東駅南側周辺まちづくり協議会）で一緒に、新しくできる駅前広場をこれからどう作っていくかということで上町・下町を歩いてきた。</li> <li>● 報告書として、「ほっとさんむ」ということで、住んでいる人も駅を降りるとほっとし、外から来た人も田舎に帰ってきたようにほっとするというテーマで整備できないかということでもとめた。「ほっと」には様々な意味合いがあり、HOTということでもみんなが積極的だということも言える。</li> <li>● また、皆さまと交流していく中で、自分は知らなかったが、山武市では当たり前となっている氏神様などの話を聞いていると、余所者だから見えてくるものがあるのだと感じた。</li> <li>● また、山武の景観といっても例えば松尾では農業が多く、蓮沼では海が特徴的など、各地域が個性的であり、山武市には海から山まで日本の風景が全部揃っている。この個性をどう活かせるかを考えていけたら良いと思う。</li> <li>● 例えば山では藤の花が咲いているのは見た目では綺麗であるが、手が入れていない証拠ということで、林業関係者からしたらありがたい風景ではない事実もある。</li> <li>● その中で、この景観を守り、つくっていくというときに誰がやるのかを合わせて考えると、市民参加型で何とか動かしていくことができないだろうか。例えばさんぶの森を蓮沼の人たちが下草刈り程度でもお手伝いすることによって、お互いの良い財産を共有できるのではないかと思う。</li> <li>● 景観というのは固まっているものではなく時代と共に生きてきているものであるもので、この状態で止めるというのはおかしいことである。もっと住んでいる方と一緒にあってより良くしていくことが重要ではないかと思う。</li> <li>● それから、国道126号線の看板については、車で走る人が読み取れるように工夫しているもので、一概に悪いとは言えないと思う。この差別化の図り方として生垣をうまく活用して良い景観にできたら良いなと思う。</li> </ul> |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 経済面がついてこないなら諦めるのではなく、市民参加、市民ボランティアでカバーしていくことで景観が形成されてくるのではないかと思う。</li> </ul>  |

## (2) 現況及び課題

山武市の代表的な景観の写真を見ながら、景観の現況及び課題について意見交換を行った。

### 【議事内容】

| 名前 | 意見内容  |
|----|---|
| 委員 | (九十九海岸と保安林の写真を見て)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>● 九十九里海岸というのはわかるが、山武市の海岸という目印がどこにもない。</li> </ul>                                |
| 委員 | (九十九海岸と保安林の写真を見て)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>● 例えば、海岸の写真でも木戸川河口や、ハマヒルガオと一緒に撮影したものであれば、九十九里でも「成東」や「本須賀」だという認識が出来る。</li> </ul> |

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | <p>(九十九海岸と保安林の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ハマヒルガオは山武だけに咲くものではないが蓮沼の南浜というところに非常に広い群生地があるので、そういう場所を写すと山武市の九十九里だと言えるだろう。本須賀のヤシの木も山武市の海岸では特徴的である。このような特徴的なものを入れることは山武市として PR する際には必要ではないかと思う。</li> </ul>                |
| 委員  | <p>(丘陵地の山林と畑の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この写真は綺麗に映っているが、このように綺麗になっているところはほとんどない。美林には見えるが、現状は間伐ができていないので、山武杉が折れ、下草には日が当たらなくなり、枯れてしまっていることが多い。</li> </ul>  |
| 委員長 | <p>(田園風景の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● これだけ広く田園がひろがっているのは九十九里平野の特徴のひとつである。</li> </ul>  |
| 委員  | <p>(浪切不動院の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市の文化財はどのくらいあるのか。事実数多くの文化財があると思うが、これらは景観のシンボルとなっているのでこの位置づけをしっかりと考えていけたらと思う。</li> </ul>   |
| 委員  | <p>(作田川から見る浪切不動院の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● これは非常に電柱が気になる。</li> </ul>   |
| 委員  | <p>(作田川から見る浪切不動院の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東金のバイパスは電柱の地中化がされており、綺麗である。</li> </ul>  |
| 委員長 | <p>(作田川から見る浪切不動院の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電柱の地中化については、莫大な費用がかかるため、どこで何のためにやるかを明確にしないとイケない。</li> </ul>   |
| 委員  | <p>(大堤権現塚古墳の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この杉林には下草がほとんどなくなっているので、これはもう限界である。草がある程度繁茂するようでないとも木は将来につながらない。事実こういう山ばかりである。</li> </ul>   |
| 委員長 | <p>(飯岡片貝線沿いの生垣の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● これらの植垣はとても魅力的である。</li> </ul>  |
| 委員  | <p>(飯岡片貝線沿いの生垣の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この写真は蓮沼の南丘というところである。写真のようなきれいな生垣になるには30、40年くらいかかるだろう。自宅の生垣もそうだが60、70年以上のものになると、葉があまり出てこなくなり青々としなくなる。新規で植の生垣をつくるとなったら、背の丈程の苗を植えると、薄くはあるが、2~3年で塀に沿って枝が張り、芽が吹く。</li> </ul> |
| 委員  | <p>(飯岡片貝線沿いの生垣の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理の仕方として、若ければ刈込んで綺麗に整えており、植え替えはほとんどしない。</li> </ul>  |
| 委員  | <p>(飯岡片貝線沿いの生垣の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理は植木屋に頼むというより、個人個人でお盆前に刈るが年に1回刈込めば上等である。植え替えは費用的にも難しい。</li> </ul>  |
| 委員  | <p>(飯岡片貝線沿いの生垣の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生垣の高さは昔からの個人宅の流れだが高ければ高いほど手間がかかる。植は潮風に強いとされ、家にあまり風を入れたい。しかし海岸線では震災の波を被って、枯れてしまったところも多い。</li> </ul>  |
| 委員  | <p>(作田川の花の植栽活動の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 作田川の花の植栽活動について、この花は市から提供されているものなのか。</li> </ul>  |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>(作田川の花の植栽活動の写真を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一部は市から提供しているが、個人や団体でやっていただいているところもある。</li> </ul>  |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ハマヒルガオについては、地元の方やそれ以外の人にも幅広く興味を持っていただいております。今年、蓮沼海岸のハマヒルガオ群生を見に来た方が非常に多かったです。そんな中、九十九里浜は車の乗り入れが出来なくなっており、非常に不便であったが、工事の関係でたまたま南浜海岸ゲートが開いており、そこから入ってくる人が見られた。将来ハマヒルガオを売り込もうとすれば、ゲートの事などを踏まえPRしていく方策が必要である。</li> <li>● また、地元の人にもあまり知られていないが、オライはすぬま付近のひまわり園では2万5000株のひまわりが植えられ、山武市の見どころのひとつになっている。</li> <li>● さらに時期的にはすでに終わってしまっているが5月には、ジャーマンアイリス園がシテイルライフに掲載されたところ、千葉、市原、長生方面から非常に多くの見学者が来ていた。</li> <li>● こうした各々の地元の見どころとイチゴの時期などタイアップしていただくと良いと感じる。</li> </ul>   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 花の綺麗な話のあとに申し訳ないが、海岸のゴミについてお話をしたい。海岸は非常にゴミが多くなかなか綺麗にならない。九十九里のサーファーは月1でゴミ拾いをしてはいるが、実際汚していることも多い。そして私が見る限り、海岸のゴミというのはすでに層になっており、毎日ゴミ拾いをしてきりがなくなっている。</li> <li>● 砂浜を市や観光協会から委託を受けて、清掃活動をしているが、目立つゴミだけを拾ってそれだけで終わってしまう。自分とは本気度が違う。自分のようにとにかく本気で綺麗にするぞ！という意識が何より重要である。</li> <li>● 御宿町では、海岸の砂が踏み固められてしまうビーチクリーナーではなく、人の手でゴミを拾って維持管理してきたことで、はだしで歩ける海になっている。綺麗にするにあたっては、このように本気でやらなければならないと思う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・山武市ではまだまだ汚いところがあるのに、自慢してしまっている現状が嫌でならない。毎日思うところで私が300人いたら、ゴミ拾いが一年かかるところを一日で終わらせることができるだろう。とにかく本気になりましょうというところである。</li> </ul> </li> </ul> |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ゴミの問題は山武市にとって非常に大きな課題であると思う。</li> <li>● 山武市には自然を中心にたくさんの宝物があるのにそれらがまだ十分に活かされていないというのが皆さんの意見だと思う。</li> <li>● 地産地消など、地元の素材をうまく使えば経済的にも良く、そうした仕組みをこういったところで議論していく中で良い景観にしていけたら良いのではないかと思います。</li> <li>● 山武の魅力を活用し、守り、創り、そしてそれを支えていく人たちをつくっていくことも考慮して議論し、計画に反映できたら良いのではないかと思います。</li> </ul>   |